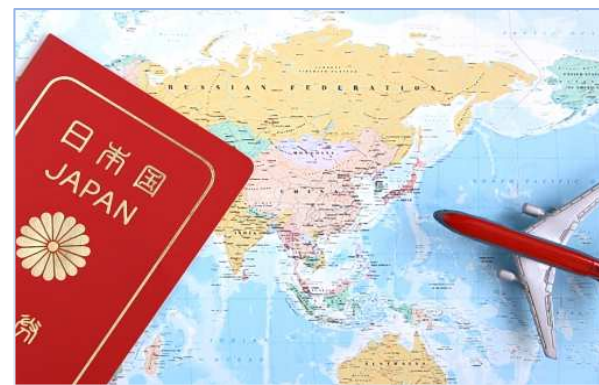


# 図書案内

2018年 5月号

担当 3-2H 勝山 3-2H 砂子



『ABOVE THE WORLD ドローンから見た世界』

DJI

あなたはふと、神になりたいと思ったことはありませんか？ この本を読めばその願いは叶うかも!? 本書は世界中の名所や絶景、動物たちをドローンで撮影した空撮写真集です。人間には決して撮れない上空からの写真は、まるで下界を見渡す神の視線を彷彿とさせます。日常から離れたいときは、ぜひこの本を手にとってください。

『すてきな地球の果て』 田邊 優貴子

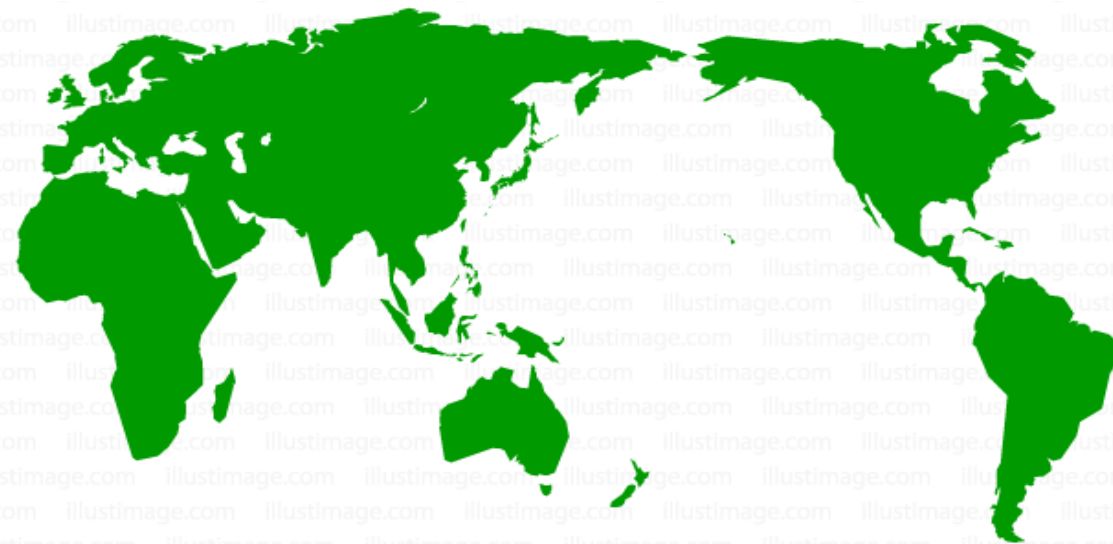
大学生の頃、オーロラに魅せられた筆者は、唯一人間が統治できなかった大陸・南極で「南極探検隊」の1人となる。人間の危険性を知らない動物たちや一面の静けさが覆う南極の世界を体験記と写真で紹介。私たちが感じることでできない世界を疑似体験させてくれるだろう。



トウカモが水浴びをする音、融け出した沢の水が海に流れていく音、海の氷が融ける音、きしむ音。どれも本当に小さな音だったが、私の心を豊かにさせる強い力を持っていた。

## 特集 世界を知る

皆さん、私たちが生きるこの世界とはいったい何なのでしょう？ おそらく明確な答えを持っている人は少ないと思います。捉えどころの無いこの世界を分析するためのヒントが図書館にはあります。この紙面で紹介した本との出会いが世界の見え方を一変させるかもしれませんよ。



世界の中の日本を知ろう！

日本人が居住している国(2016年度)

順位	国名	人数
1	アメリカ合衆国(米国)	42万1665
2	中華人民共和国(中国)	12万8111
3	オーストラリア	9万2637
4	タイ	7万337
5	カナダ	7万174
6	英国	6万4968
7	ブラジル	5万3400
8	ドイツ	4万4027
9	フランス	4万1641
10	大韓民国(韓国)	3万8045

日本への入国者の多い国・地域(2017年度)

順位	国・地域名	人数
1	中華人民共和国(中国)	735万5800
2	大韓民国(韓国)	714万0200
3	台湾	456万4100
4	香港	223万1500
5	アメリカ合衆国(米国)	137万5000
6	タイ	98万7100
7	マレーシア	43万9500
8	フィリピン	42万4200
9	シンガポール	40万4100
10	インドネシア	35万2200

【出典】外務省 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/index.html>

『アショーカ王伝』 定方 晟

文系、もしくは仏教徒におなじみのアショーカ王の活躍を纏めた1冊!! 梵語(サンスクリット)で書かれた詩文を日本語詩に訳した訳者の手腕はまさに圧巻の一言。なんといっても本書の一番の魅力は、ブツ飛んでいる古代インド人の感覚を楽しめる点だ。サイコパスの少年や急に出てくる仏陀、悪ふざけのような名付けなど、ハラハラドキドキの内容になっている。本書を読んでキミも普通の小説とはひと味違う世界観を味わってほしい。



「この子が生まれたので、憂いがなくなった。」そこでこの子にアショーカ(「憂いなし」の意)という名をつけた。やがて二番目の男の子が生まれた。母親の憂いがすでに取り除かれていたときに生まれたので、この子にヴィガタショーカ(「憂いが取り除かれていた」の意)という名前をつけた。

『世界まちかど地政学』 藻谷 浩介

この本は世界90カ国を旅してきたバックパッカーである筆者の旅行記である。日本のニュースでは報道されないことのない欧州の政治事情や西アジアの政治事情など、現地に足を運んだからこそ分かる筆者のリアルな話は心奪われるものばかり。きっとあなたの視野、知見を世界に広げてくれるだろう。世界に羽ばたきたい人におすすめ!



“ドイツの北方領土” カリーニングラードで考えた

治安のよい日本での生活に慣れ親しんだ日本人が海外へ出向いた際には、予想もしない事件や事故に巻き込まれるケースが非常に多く見受けられます。海外では「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが何よりも大切です。海外では危険が隣り合わせということを自覚し、安全に対する意識を常に「海外モード」に切り替えて行動するよう心がけてください。出発前には渡航先の最新情報を入手し、自分自身を守るための十分な知識を身につけておきましょう。

【出典】外務省 [https://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/makio.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/makio.html)

オーロラで一番よく見られる色は？ 一番珍しい色は？

一番良く見られるのは、緑色のオーロラです。次にピンク色、その次が赤色です。とても珍しいのは青(紫)色です。色の見え方は個人差があるので、違う色に見える人もいるかもしれません。

【出典】国立極地研究所

<http://www.nipr.ac.jp/science-museum/qa/aurora.html>

『「おバカ大国」オーストラリア

だけど幸福度世界1位! 日本20位!』

沢木サニー祐二

自由奔放、勝手気ままな国・オーストラリア。彼らの「おバカ」エピソード満載の話には爆笑必至。オージーたちの国民性や政治・経済など様々な面に焦点を絞って語っていく本です。4・6・8の勉強をし、テスト漬けの中部生にとって、きっと彼らは別世界の生きものに感じられることでしょう。特に3月のオーストラリア研修参加者には絶対に読んでもらいたい1冊です。



ほぼ毎日、テレビの夜のニュースは定時より3分から5分くらい遅れて始まります。放送事故などではなく、単純にずれこんでいるのです。15分くらい遅れることもしばしば。